



報告書

阪技術研森之宮第1 - 2164 号

受付番号	M02-01328	
依頼者	会社名	エンバイロ・ガード合同会社
	住所	大阪市北区梅田2-2-2ヒルトンプラザウエストオフィスタワー19F
試料名	(依頼者の申出による呼称) ろ紙、レジェンダリー、サーモブロック、サーモブロックPL74	提出試料(4)点
No.	試験コード	試験名
1	F105	カビ抵抗性試験(胞子洗浄なし・カウントなし)

本研究所に申込みのあった件について次のとおり報告します。

発行日 令和 6 年 3 月 18 日

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所理事長



(注意事項)

- ・ 申込書に記載された受付番号、会社名、住所、試料名、提出試料点数、試験名等を記載しています。
- ・ 試料名は依頼者の申出によるものです。
- ・ 依頼者は、本報告書の記載事項について、本研究所名義とともに印刷物やインターネット等の電子媒体に掲載して広告しようとする場合は、事前に名義使用の承認申請書を提出し、理事長の承認を受ける必要があります。

1. 提出試料 (名称は依頼者の申し出による)

提出試料名：ろ紙、レジェンダリー、サーモブロック、サーモブロック PL74 合計

4点

2. 方法

J I S Z 2911-2010 (かび抵抗性試験方法) 8 (塗料の試験) を参考にして行った。ただし、流水による試料の前処理および孢子数の計測は行わなかった。表 1 に示すかびについて、ポテトデキストロース寒天培地 (日水製薬(株)) を用いて培養し、十分生育させたのち、孢子または菌体を掻き取り、0.005 % のスルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウムを含む滅菌水に懸濁した。これらの懸濁液を混合して混合孢子懸濁液を調製した。密閉型のプラスチックシャーレに表 2 に示す組成の寒天培地 20 mL を入れ平板培地を作製し、試料をのせ培地に密着させた。試料の全面が濡れるように約 1 mL の混合孢子懸濁液を吹きかけ、シャーレのふたをして、27 °C の容器内で 7 日間保管した。数日ごとに、かびの発育を観察した。

表 1 試験に用いたかび

<i>Aspergillus niger</i> NBRC105649
<i>Penicillium pinophilum</i> NBRC6345
<i>Cladosporium sphaerospermum</i> NBRC6348
<i>Aureobasidium pullulans</i> NBRC6353
<i>Trichoderma virens</i> NBRC6355

表 2 寒天培地の組成

蒸留水	1000 mL
グルコース	40 g
ハイポリペプトン (日本製薬 (株))	10 g
寒天	20 g

3. 結果

培養 3、5、7 日目に試料上面に対して目視による観察を行うことによってかびの発育を評価した。(表 3) 培養 7 日における試料の外観を図 1~4 に示す。

表 3 菌の発育の評価

提出試料名	かびの発育 ^{注1)}			(かび抵抗性) 結果の表示 ^{注2)}
	3日	5日	7日	
ろ紙	++	+++	+++	2
レジェンダリー	—	—	—	0
サーモブロック	—	+	+	1
サーモブロック PL74	—	+	+	1

注1) 試料の上面を評価の対象とした。

- : かびの発育は認められない。
- ± : かびの発育の有無を肉眼で容易に確認できない。
- ± : 僅かにかびの発育が認められる。
- ++ : 疎らにかびの発育が認められる。
- +++ : 激しいかびの発育が認められる。

注2) 0 : 試料の接種した部分に菌糸の発育が認められない。

- 1 : 試料の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の 1/3 を超えない。
- 2 : 試料の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の 1/3 を超える。

(次頁に続く)



図1 ろ紙 培養7日写真

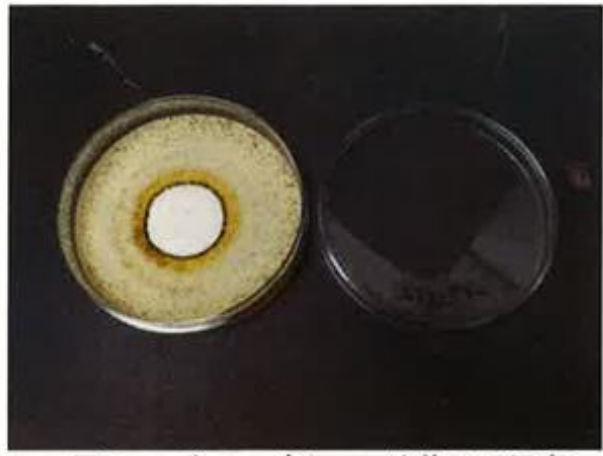


図2 レジェンダリー 培養7日写真

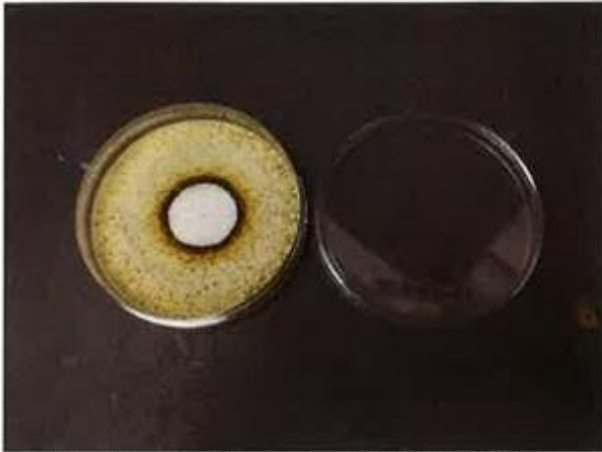


図3 サーモブロック 培養7日写真

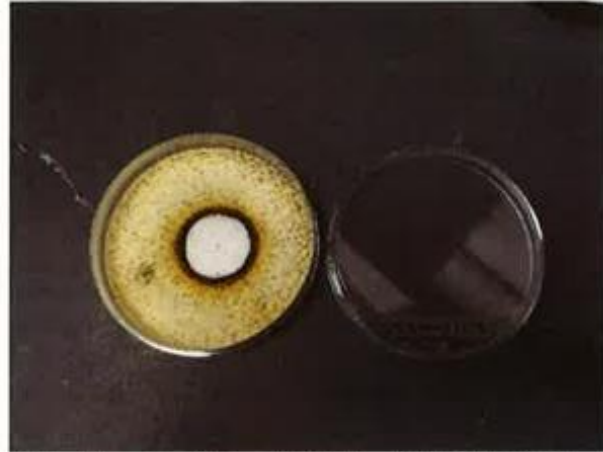


図4 サーモブロック PL74 培養7日写真

—以上—